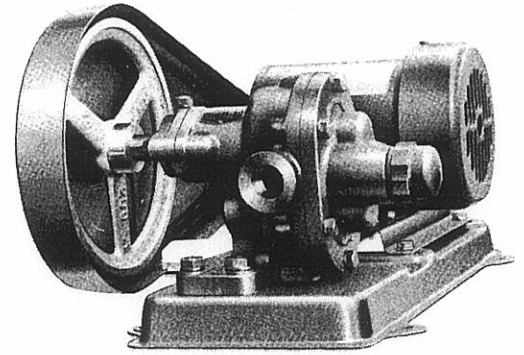




# 取扱説明書

## KR-S型ギヤーポンプ

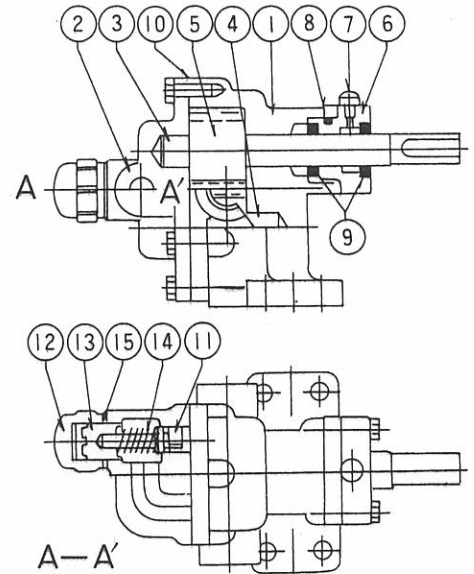


このポンプを正しくご使用いただくために本説明書をよくお読みのうえ、大切に保管して下さい。

### ポンプ仕様表

| ポンプ型式 | 口径  |    | 圧力<br>MPa | 50Hz         |                           | 60Hz         |                           | モーター<br>kW × P |
|-------|-----|----|-----------|--------------|---------------------------|--------------|---------------------------|----------------|
|       | B   | A  |           | 吐出量<br>L/min | 回転速度<br>min <sup>-1</sup> | 吐出量<br>L/min | 回転速度<br>min <sup>-1</sup> |                |
| KR-3S | 3/8 | 10 | 0.3       | 6            | 350                       | 7            | 420                       | 0.2 × 4        |
| KR-4S | 1/2 | 15 | 0.3       | 10           | 350                       | 12           | 420                       | 0.4 × 4        |
| KR-6S | 3/4 | 20 | 0.3       | 20           | 350                       | 25           | 420                       | 0.4 × 4        |
| KR-8S | 1   | 25 | 0.3       | 40           | 400                       | 50           | 480                       | 0.75 × 4       |

### ポンプ構造図



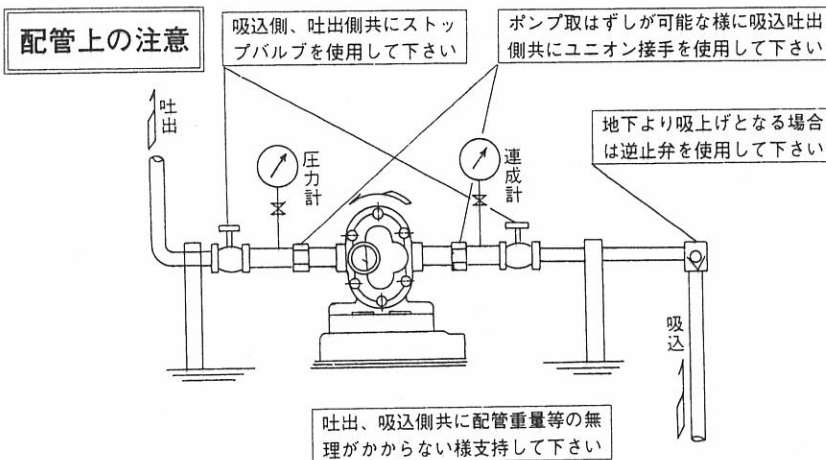
## 据付前に次のことをお調べください

ポンプは発送前に全品社内試験を行い、正常に運転できる状態で出荷されますが、開梱の際下記の項目について点検して下さい。

- ①ご注文の製品かどうかポンプの銘板でポンプ型式等をお確かめ下さい。
- ②輸送上で生じた破損箇所はありませんか。開梱後、Vプーリーを手で廻して見て円滑に廻ることを確認して下さい。
- ③付属品は全部ありますか。Vベルト駆動の標準付属品はベース、スライドラール、Vベルト、Vプーリー、ベルトカバーです。

## 工事される方へ

工事が完了しましたら、この取扱説明書を保守管理される方にお渡しください。



| No | 部品名      | 材質         |
|----|----------|------------|
| 1  | ケース      | FC250      |
| 2  | カバー      | FC250      |
| 3  | ドライブシャフト | S45C 高周波焼入 |
| 4  | ドリブンシャフト | S45C 高周波焼入 |
| 5  | ギヤ       | S45C       |
| 6  | グランドメタル  | B06        |
| 7  | 注油プラグ    | BSBM       |
| 8  | Oリング     | NBR        |
| 9  | オイルシール   | NBR        |
| 10 | ケースパッキン  | 耐油紙        |
| 11 | バルブ      | S35C       |
| 12 | Rキャップ    | FC250      |
| 13 | 調整ねじ     | S35C       |
| 14 | Rスプリング   | SWP        |
| 15 | Rパッキン    | ウレタンゴム     |

吸込側の配管については、特に下記項目に注意して下さい。

- ①吸込側の配管は出来るだけ曲りを少なく距離を短くして下さい。吸込側揚程は配管抵抗も含め5mまでとして下さい。
- ②吸込側の配管は空気のもれ込みが絶対にならないように、又途中空気溜りが出来ない様にして下さい。
- ③スラッジ等異物の入る恐れのある時はストレーナーをご使用下さい。

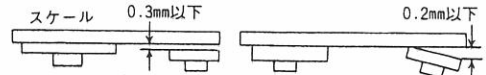
## ポンプの据付手順

基礎の据付面は  
水平に仕上げる

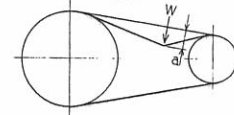
シム又はクサビ  
で調整する

ベルトカバーを  
取りはずす

Vプーリーの取付け心の確認をする

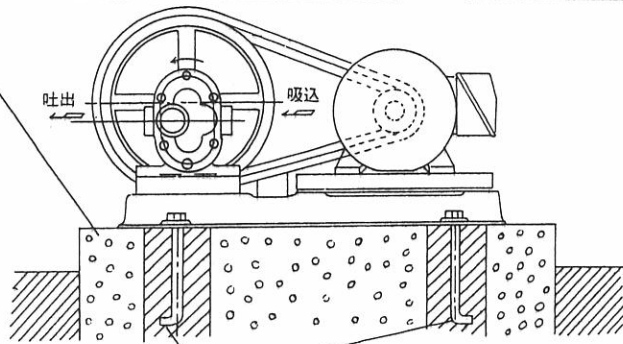


Vベルトの張りは



Wは指で押して見る  
約10N  
aは約8mm

配管及び上記心出し確認後、基礎ボルトを締  
付け固定する  
ベルトカバーを取付ける



基礎ボルト穴は寸法図  
によってあけておく

## 取扱われる方へ

試運転時には、特に各部分の確認を十分に行なってください。

### 運転手順

ポンプ内のドライ運転は絶対に行なわないで下さい。

電気系統の確認  
ヒューズ容量は適当か。  
配線接続は正しいか。  
アース配線はされているか。

スイッチを入れる前に  
吸込側、吐出側の弁は全開  
する。

回転方向の確認  
瞬時的にスイッチを入れる。  
逆の場合はモーター配線に  
て合せる。

運転に入る  
吐出圧力計によりポンプ規定圧力  
以下を確認する。  
吸込側連成計により-5m以内で  
あることを確認する。  
電流値は定格以下であることを確  
認する。

### 運転上の注意

- ①ポンプ吐出圧力は0.3MPa以上で運転しないで下さい。安全弁が作動します。
- ②ポンプに内蔵されている安全弁は流量調整および圧力調整弁として使用しないで下さい。
- ③ポンプより直接バーナー送りの場合は出来るだけ燃焼量に見合ったポンプを選び、流量調整および圧力調整には別途パイパスを設けリリーフ弁を取付けて下さい。

### 運転上で発生せる諸問題については次の点を確認して下さい

- ①始めてポンプを運転し、吸い上がらない場合。
  - 吸込側配管の空気漏洩を再チェックして下さい。
  - 吸込側の配管が長い場合、管中の空気を排除し油を吸い上げる迄にポンプ内の油膜が切れてしまうときがあります。この場合は配管をはずしポンプ内に給油して下さい。
- ②当初吸い上げたが、再運転で吸い上がらない場合。
  - ポンプ停止中に油が落ちてしまう場合、吸込側に逆止弁を取り付けて下さい。
  - 逆止弁が吸込側になく、吐出側にのみついている場合、ポンプ停止中に吸込側の油が落ち、エアポケットが出来、吸い上げが出来なくなることがあります。逆止弁を吸込側に付け変えて下さい。
- ③騒音が発生する。
  - 吸込側のストレーナーが目づまりしている。或は吸込側の抵抗損失が大きく-5mを越えますと、キャビテーションを生じ異常音を発します。

### 保守点検

- ①表記構造図部品No⑦の給油プラグをはずし、3カ月に1回位給油を確認して下さい。
  - ②長期間使用してシール部より油洩れが生じた場合は軸封部のユニットを交換して下さい。
  - ③Vベルトの張りがゆるみますとスリップします。モーターをスライドさせ調整して下さい。
- 吐出圧力0.3MPa以上の使用条件には0.6MPaまでのHSR-S型をご使用下さい。

# 大東工業株式会社

東京都荒川区西尾久7-52-1 TEL 03 (3893) 4811 〒116